

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝日印刷 京都クリエイティブパーク	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市州見台	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	73 人
気候区分	5地域	年間使用時間	4,200 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年7月24日
敷地面積	47,300 m <sup>2</sup>	作成者	地田正和
建築面積	6,733 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月28日
延床面積	9,618 m <sup>2</sup>	確認者	地田正和



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 87%  
③上記+②以外の 87%  
④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.8

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

<p>建物の機能を満たしながら、できる限り使用エネルギー削減を主目的に設計を行う。また、積極的な緑化を行い、建物北側の前面道路からの景観に配慮した建物づくりを目指します。建物外皮性能を向上し熱負荷を軽減、空調エネルギーを削減している。</p>	<p>特になし</p>
<p>会議室、応接室や事務室は周囲の音の影響に配慮し、遮音性能のある壁を設けている。外部建具を複層ガラス、外壁は金属系断熱パネルとして、建物外皮全体での断熱性能を高め快適な室内環境を目指した。</p>	<p>南面の既存竹林及び周囲法面の緑地を可能な限り保存し、敷地内の緑地保全に努めている。前面道路沿いに正面性ある建物として新たな顔を形成し、他の建物と一体となった景観を生み出すよう計画している。</p>
<p>複層ガラスの採用と外壁・屋根の外断熱による熱負荷の軽減により空調エネルギーの削減を図っている。また、生産機器の排熱などは局所排気し、生産室の熱負荷の軽減に努めている。</p>	<p>2階建を敷地境界からセットバックした計画であり、日照障害、風害は視況と同程度で周辺に配慮された計画である。外灯については、点灯時間や光の向きを調整しマンション住環境に配慮した照明計画を行い、光害対策に努める。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される